

2016年(平成28年)

12月市議会報告

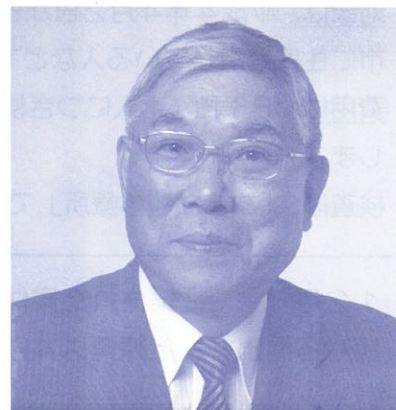
No.181 2017年 新春号

2017年(平成29年)1月 再発行



2016年(平成28年)12月定例議会

平成28年12月議会は、平成28年11月24日から12月9日までの15日間、11議案と、4陳情が提出され審議されました。議案では、国の法律改悪にもとづく農業委員会の弱体化をはかる条例改定が提案され、日本共産党は反対しました。また、人事院勧告に基づく公務員給与手当の引き上げが提案され賛成しましたが、議員、市長や教育長など特別職の期末手当引き上げ案には反対しました。



一般質問要旨

【宮城 登美子議員】

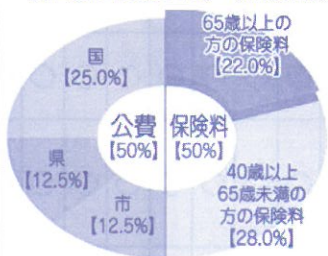
コミュニティバスききょう号にベンチ設置を

駅など利用者の多いところに「ベンチを設置して」という強い要望にこたえてほしい、との問いに市は「道路構造令で設置できる道路の幅が決まっています。設置は難しい」と答弁しました。東武鎌ヶ谷駅や新鎌ヶ谷駅前ロータリーの停留所には屋根が設置されているのだから構造令の基準は満たされているのではないかと質しましたが、市は「今後、駅前広場利用者連絡協議会や交通広場利用者などの意見を聞きながら調査・研究していく」と答えました。高齢化が進む中、柔軟な対応をしてほしいものです。



イスのない停留所でバスを待つ乗客
(新鎌ヶ谷駅前)

【介護保険給付費の財源構成】



高齢者が安心してらせる鎌ヶ谷市に

介護保険料 3年ごとに上がり続けていて制度開始時との比較で約1.7倍にもなっています。

介護保険の法改悪で市民への影響深刻に・・・

一方、平成27年度からは、法律改悪を受けて下記のような影響があることが今回の質問で明らかになりました。

- ① 特別養護老人ホーム入所制限で、127人も待機者が減りました。要介護1、2が認知症などで特例的に入所が認められる人以外は原則入所できなくなったのです。
- ② 介護の利用料が2割負担へ。(今までは一律1割でしたが、単身で年金が280万円以上の人など、一定以上の所得がある人が2割になりました) 鎌ヶ谷市では、要介護認定者中、739人、約18.2%に影響がありました。
- ③ 施設利用料のうち居住費と食費は軽減の対象にならず、自己負担に。月額約6万5千円もの負担増になる方もいます。まさに、「保険あって介護なし」の現状です。

市が実施する要支援1、2が対象の「新総合事業」では財源の上限が決められています。せめて現行のサービスを維持していくように、また、介護保険財源の国の負担割合を引き上げるよう、国に要請することを強く求めました。

【佐竹 知之 議員】

障がい者(児)施策として「親亡き後」の対策を 成年後見人やグループホームの設立・整備を

- 1、法律改定による障がい者給付サービスの支給決定を受けるために必要な「サービス等利用計画」の作成について相談支援専門員など体制を質量ともに充実させることを要望しました。
- 2、「親亡き後」の対策で、①後見人制度がもっと活用できるよう後見人養成を市としてすすめてほしいこと。②グループホームの拡充・整備を要望しました。市は「市民後見人養成研修の継続実施、研修受講修了者のNPO法人への参加などを促し取り組みを強める」との回答でした。
- 3、障がい者福祉施設や作業所などが、災害時に備えて市と協定を結び、食糧など必要な支援物資が届くようにしてほしいと要望しました。市はこの要望に対して「自助努力を」などと言いつつも、「施設と協定を結び、福祉避難所施設として指定することは災害時に大きな力になる」と認めました。

空き家を市が借り上げて、低所得者、住宅困窮者、 若い世代のために活用してはどうかと提案

空き家を市が借り上げてリフォームし、低所得者や住宅困窮者に貸し出すことを考えてはどうか提案。とくに若い世代には家賃補助制度をつくり、若い人たちが住みやすい環境をつくり、「結婚も、子育てもしやすい鎌ヶ谷市」としてアピールすべきではないかと提案しました。



「東中沢4丁目ふれあいの森」

「東中沢4丁目ふれあいの森」は、市が買い取って 「市民の憩いの場」にするため交渉継続を

「東中沢4丁目ふれあいの森」を市が買い上げて「市民の憩いの場」にするように引き続き交渉を強めてほしいとの要望に対し市は「地権者との交渉を今後も継続してすすめていく」と回答しました。

<p>甲状腺超音波検査事業実施へ</p> <p>今議会で補正予算が組まれ、平成29年1～3月に2回実施されることが決まりました。</p> <p>目的は、福島第一原発事故に起因する放射性ヨウ素の初期被ばくによる甲状腺への影響を心配する市民に対し検査を実施するものです。</p> <p>対象は、平成4年4月2日から24年4月1日生まれの者。鎌ヶ谷市に住民登録している人などです。</p> <p>費用は、3千円（1人につき検査費用6千円のうち半額は市が助成します）</p> <p>検査は、「かまがや診療所」で実施。</p>	<p>平成29年度以降も同様の方法で実施する。</p> <p>本来、国がすべきものと考えているが、国の対策が進まない中、市民からの要望もあり、実施の検討となった。</p> <p>鎌ヶ谷医師会に委託</p> <p>検査の医師は福島県民の健康調査に携わった医師の協力を仰ぎ、診療放射線技師が撮影した検査画像を見ながら医師が直接被検査者及び保護者に説明をする一とのこと。</p> <p>近隣他市では 松戸、柏、我孫子市などが実施。 (県内汚染状況重点調査地域9市のうち)</p>
--	---

12月議会で提案された案件は11議案、陳情が4件ありました。日本共産党市議団は11議案のうち、7議案に賛成しました。市民から提出された陳情は4件、1件に賛成、1件は継続、2件に反対しました。

12月議会で提案された主な議案の内容 (○は原案に賛成、×は反対、△は継続審議)	日本共産党				政友会										公明党				市民連合		未来クラブ		無所属	議決の結果			
	宮城とみ子	佐竹知之	大野幸一	土屋裕彦	原八郎	泉川洋二	勝又勝	芝田裕美	森谷宏	松澤武人	小泉巖	石神市太郎	野上陽子	中村潤一	池ヶ谷富士夫	佐藤誠	川原千加子	小易和彦	矢崎悟	津久井清氏	針貝和幸	三橋一郎	大内一也		岩波初美		
議案第3号 鎌ヶ谷市農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○																							可決
議案第6号 鎌ヶ谷市庁舎免震改修工事請負変更契約の締結について	○	○	○	○																						×	可決
議案第8号 鎌ヶ谷市議会議員の期末手当の増額に関する条例の一部を改正する条例の概要	×	×	○	○																					×	○	可決
議案第9号 鎌ヶ谷市特別職(市長・副市長・教育長)の期末手当増額に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	○																						○	可決
議案第10号 鎌ヶ谷市職員の給与や手当の増額に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○																						○	可決
陳情1 政務活動費の領収書等の議会ホームページでの公開を求める陳情書	○	○	○	○																						○	可決
陳情2 市道11号線および主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線の整備計画に関する陳情	△	△	△	△																						△	継続
陳情3 鎌ヶ谷市議会議長への請願・陳情にかかわる署名簿の提出方法から押印必要項目の削除を求める陳情	×	×	×	×																					○	○	否決
陳情4 東初富テニスコートの人工芝至急張替とコート3面から4面に1面増設しコートの向きを眩しくない方向に90度変更を求める陳情	×	×	×	×																						○	否決

農業委員制度が大きく変わります。選挙による公選制をなくし企業も参入できるようになります

農協中央会の弱体化と連動し、鎌ヶ谷市の農業委員会条例が改定されました。これまでは農業委員会を構成する委員は、農業者の皆さんの中から立候補し、みなさんが自分たちの代表として選挙で選んでいますが、これからは「農業委員になりたい」と名乗ることはできませんが、最終的には市長の任命制になります。さらに、もう一つの大きな問題は、企業が農業に堂々と参入出来るようになります。企業は採算が合わなければ撤退できます。農地荒廃が心配されます。

訂正とお詫び

昨年12月中旬から下旬にかけて一部地域に配布しました「12月議会報告」において、上記表の陳情3の「請願・陳情にかかわる署名簿の提出方法から押印必要項目の削除を求める陳情」の議員の賛否について、岩波初美議員、三橋一郎議員の賛否が、陳情に反対の「×」印となっておりますが、賛成の「○」印の間違いでした。訂正して関係者のみなさんにお詫び申し上げます。

日本共産党市議会議員団 宮城とみ子、佐竹知之